

令和6年度 上半期

西原村工業用水道事業
業務状況説明書

(令和6年4月1日から令和6年9月30日まで)

西原村工業用水道事業

1 令和6年度上半期の状況

(1) 事業の概要

ア 業務

本年度の上半期の業務状況は、給水管所数においては7事業所8ヶ所であり、前年度末からの増減はありません。各企業毎の契約水量においては昨年度と同様であり、8ヶ所での契約日量計836㎥に変更はありませんでした。配水池からの配水量及び各企業への給水量を前年度同期と比較してみると、配水量及び給水量共に減少しています。なお給水量については、一日平均として40㎥の減少となっています。今後も各企業への給水量について注視していきます。

既存鳥子工業団地内企業より設備増強による契約水量増の要望があり、現在の配水能力を上回る必要水量が見込まれ、昨年度から今年度上半期にかけて新たな水源の電気探査及び井戸の掘削・揚水試験を行いました。

(9月末現在)

区 分	年 度 令和6年度 上半期	令和5年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率
給 水 管 所 数	8 力所	8 力所	—	—
上 半 期 配 水 量	114,155 ㎥	122,845 ㎥	△ 8,690 ㎥	△ 7.07 %
上 半 期 給 水 量	108,067 ㎥	115,229 ㎥	△ 7,162 ㎥	△ 6.22 %
月 平 均 給 水 量	18,011 ㎥	19,204 ㎥	△ 1,193 ㎥	△ 6.21 %
日 平 均 給 水 量	600 ㎥	640 ㎥	△ 40 ㎥	△ 6.25 %
上 半 期 有 収 率	94.67 %	93.80 %	—	0.87

※月平均給水量は、上半期給水量を6で除したもの。日平均給水量は、月平均給水量を30で除したもの。

イ 建設改良事業

令和6年度の当初予算において、建設改良事業では鳥子地区新工業団地の造成事業に伴い、造成予定地への既存鳥子工業団地から工業用水を配水するため、距離約960m、口径Φ150mmにおける本管布設のための工事費85,800千円を計上しました。なお、工事の発注については造成等の進捗状況により上半期では未発注となっています。

また、昨年度からの建設改良繰越により、既存鳥子工業団地の南側付近に井戸の掘削・揚水試験までの「さく井工事」を行いました。その結果取水可と判断し、今後は取水・配水施設整備の詳細設計を行う予定です。

(2) 経理の状況（税込）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。なお、9月議会臨時会において、補正予算（第1号）が可決されました。なお、補正内容は資本的収入に40,000千円の追加、同支出に47,769千円の追加補正となっています。

ア 収益的収入及び支出（9月30日現在）

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	予算現額	執行額	執行率	区 分	予算現額	執行額	執行率
事 業 収 益	24,961	11,922	47.76 %	事 業 費 用	24,032	6,295	26.19 %
営 業 収 益	15,105	7,656	50.69 %	営 業 費 用	21,466	6,295	29.33 %
営業外収益	9,855	4,266	43.29 %	営業外費用	718	0	0.00 %
特 別 利 益	1	0	0.00 %	特 別 損 失	848	0	0.00 %
				予 備 費	1,000	0	0.00 %

※上記については、端数処理により必ずしも合計額と一致しない場合があります。

※固定資産減価償却費については、上半期分には計上していない。

イ 資本的収入及び支出（9月30日現在）

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	予算現額	執行額	執行率	区 分	予算現額	執行額	執行率
資 本 的 収 入	110,000	0	—	資 本 的 支 出	136,022	2,046	1.50 %
企 業 債	110,000	0	—	建設改良費	134,204	2,046	1.52 %
工事負担金	0	0	—	固 定 資 産	1,818	0	—
補 助 金	0	0	—	企業債償還金	0	0	—
負 担 金	0	0	—				

※上記については、端数処理により必ずしも合計額と一致しない場合があります。

2 令和5年度決算の状況（前年度事業）

（1）事業の概要

ア 業務

令和5年度では、給水状況について前年度と同様の7事業所8ヶ所に給水を行いました。
年度途中での契約水量の変更はなく、契約水量としては令和5年度は年度初めから年度末まで1日当たり836㎥（年：305,140㎥）で運営を行いました。年間有収水量は241,496㎥となり、前年度と比較して6.48%の減となりました。うち9,263㎥は超過水量となっています。有収率については94.86%となり、前年度より1.78ポイントの減となりました。
収益的収入については、事業収益25,774千円(税込)となり、支出においては事業費が21,077千円(税込)、当期純利益4,176千円、当年度未処分利益剰余金64,782千円となっています。

区 分 \ 年 度	令和5年度	令和4年度	比 較	
			増 減	増減率
給 水 箇 所 数	8 力所	8 力所	—	—
年間総配水量	254,572 ㎥	267,199 ㎥	△ 12,627 ㎥	△ 4.73 %
年間総有収水量	241,496 ㎥	258,234 ㎥	△ 16,738 ㎥	△ 6.48 %
年 間 有 収 率	94.86 %	96.64 %	—	△ 1.78

イ 建設改良事業

西原村工業用水道事業の事業全体として、令和5年度では鳥子工業団地の既存企業からの早急な増水要望があり、配水能力を超えること及び、新工業団地における進出企業を向かい入れるため、新たな水源地の確保として電気探査業務委託を行い、取水の可能性あることから建設改良繰越として令和6年度への年度跨ぎでの「さく井工事」を発注し、事業が進んでいるところです。

その他の施設等については、漏水や大きなトラブルも発生せず無事に事業が行えました。西原村中央簡易水道事業と併用した中央監視システムにより、工業用水道事業施設の稼働状況も明確に把握出来ており、安定供給に努めることができました。

今後は、新規水源整備に伴う取水・配水施設等整備を主としつつ、工業用水道施設の老朽化した配水管及び施設の耐震化や、配水能力増強のための施設整備を行うことで、西原村の産業活動の基盤となる工業用水の安定供給の確保を図る必要があります。

ウ 工事等の状況

当期における主な工事等は、以下のとおりとなっています（単位：円）

工 事 等 名	金額（年度末契約額）
工業用水道水源地さく井工事（R5からR6への建設改良繰越）	47,454,000

(2) 経理の状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

事業収益は23,783,642円（税込金額：25,773,802円）で、前年度対比9.8%の減となりました。主な要因としては、契約水量の減（R5年度946m³→R6年度836m³）によるものです。事業費用では、19,607,366円（税込金額：21,077,393円）で、前年度対比38.0%の増となり、主な要因としては水源電気探査業務委託費の増によるものです。

この結果、4,176,276円の純利益となり、年度末利益剰余金合計が115,477,947円となりました。

イ 資本的収入及び支出

資本的収入は0円で、支出は322,709円（税込金額：354,980円）となりました。

なお資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額354,980円は、当年度分損益勘定留保資金354,980円での補填を行いました。なお、これに地方公営企業法第26条第1項による建設改良繰越として49,962,000円を令和6年度へ繰越しており、収入についてもこの繰越に伴い、予算に対し45,000,000円の未収となっています。

収益的収入及び支出

（単位：千円）

収 入				支 出			
区 分	令和5年度	令和4年度	比較増減	区 分	令和5年度	令和4年度	比較増減
事業収益	25,774	27,935	92.26 %	事業費用	21,077	15,256	138.16 %
営業収益	15,886	17,117	92.81 %	営業費用	20,409	14,530	140.46 %
営業外収益	9,888	10,818	91.40 %	営業外費用	668	726	92.01 %
特別利益	0	0	—	特別損失	0	0	—
				予 備 費	0	0	—

資本的収入及び支出

（単位：千円）

収 入				支 出			
区 分	令和5年度	令和4年度	比較増減	区 分	令和4年度	令和5年度	比較増減
資本的収入	0	0	—	資本的支出	355	5,686	6.24 %
企業債	0	0	—	建設改良費	355	5,686	6.24 %
工事負担金	0	0	—	固定資産	0	0	—
補助金	0	0	—	企業債償還金	0	0	—
負担金	0	0	—				

(3) 企業債及び一時借入金

ア 企業債

(単位：円)

	前年度末残高	当期実績		3月31日現在
		借入金	償還額	
企業債現在高	0	0	0	0

イ 一時借入金
該当なし

ウ 固定資産

(単位：円)

	令和5年度末現在高
土地	10,376,180
建物	10,753,213
構築物	150,054,219
機械及び装置	46,285,285
その他	5,491,800
無形固定資産	0
計	222,960,697